

ピコ

1

2020年 No.368
令和2年1月

謹賀新年



新年挨拶	2~4
2019北海道ホルスタインウィンターフェア	5
第21回ミルクフェスティバル	6
令和元年度第2回地区別学習会 乳房炎用ワクチン「スタートバック」 フォローアップセミナー開催される	7
整備工場技術講習会	8
広尾町農協酪農部会視察研修	8
広尾町和牛改良組合視察研修	9
外国人技能実習生現地視察（インドネシア）	10
年金相談会	11
不法投棄合同パトロール行われる	11
不要農機具・車両回収処理事業行われる 農業用廃プラスチック類回収行われる 「営農計画書」の提出はお早めに 農協記念日式典	12
農家実習を終えて	

『雇用保険 正しい受給で 確かな就職』	13
防火訓練 JAひろお青年部	14
第44回JA十勝青年部大会開催	14
JAひろお青年部農薬空容器回収行われる JAひろお青年部除角作業行われる JAひろお女性部秋期講習会	15
JAひろお年金友の会観劇温泉湯治旅行	16
広尾警察署からのお知らせ 育成牛体側プロジェクト結果から⑦	17
JAグループ通信	18~19
北海道地域農業研究所だより	20
JAネットワーク十勝の動き	21
理事会	22
謹賀新年	26

新年の挨拶



広尾町農業協同組合代表理事組合長

萬亀山正信

組合員の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられていることと心よりお喜び申し上げます。

また、旧年中は本組合の事業運営に對しまして特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、昨年は天候に恵まれ大きな災害や農作業事故もなく穏やかな一年でありました。

昨年の本町農業の概況を顧みますと農産部門におきましては、春先から農作業が順調に進み農作物の生育も概ね良好に推移したことで、何れの作物も

計画以上の収量となりました。

一方、畜産部門は、生乳生産につきましては経営中止による経産牛頭数の減少や猛暑の影響もありましたが、生産者の皆様が積極的に先進技術を取り入れ、適切な飼養管理に取り組みられたことにより前年以上の生産量を確保することができました。また、ここ数年見られたような台風等による農作物や建物等への被害も無く穏やかに経過したことから牧草の収穫も例年以上に順調に進み品質も良好となり、飼料用とうもろこしも倒伏することなく質の良

いものが収穫されたことで今後の生乳生産に期待が寄せられます。

肉牛販売においても近年高値で推移しておりました和牛素牛相場が弱含みとなりましたが、肉牛生産者皆様は安定した経営を維持されております。

これも偏に組合員の皆様が、研鑽を惜しまず日々努力された成果であり、心より敬意と感謝の意を表する所であります。

令和という新しい時代を迎え、農業分野における技術革新が日進月歩で進んでおり、農業を取り巻く環境が大きく変化しようとしている中、当組合におきましては組合員戸数の減少、感染病対策等が喫緊の課題であり、新規就農誘致の促進等に積極的に取り組む必要があります。

貿易問題では、一昨年暮れのTPP11及び昨年2月の日欧EPAの発効に加え日米貿易協定が発効されたことで、それらによる国内の農業生産額は2,000億円近くも減少すると試算されており、特に酪農・畜産が主体である本町の農業にとつては大きな打撃となることが懸念されます。国内の農業と農業者の生活を守り、国民に安心で安全な食料を供給することが我々の使命であることを肝に銘じ、今後の交渉の行方を注視しながら引き続き万全の国内対策を講じるようJAグループを挙

げて政府に要求して参ります。

また、5ヶ年に渡り政府主導で進められた農協改革が昨年5月を以て一つの区切りをつけましたが、働き方改革による業務態勢の見直しや今後見込まれる深刻な人手不足等、農協業務を円滑に取り進める上で乗り越えなければならぬ課題が山積しております。とりわけ労働人口の減少は農業・農協に限った問題ではなく、関連産業にも大きな影響を与えており今後の組合員の皆様の営農にも支障を来すことも考えられます。

その他、規模拡大に伴う環境負荷軽減対策や家畜衛生対策等にも引き続き取り組みながら、組合員の皆様の安定した農業経営と地域住民の皆様の生活にお役に立てるよう役員一丸となつて各種事業を展開して参りますので、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年は子年であります「子」という文字には「増える」という意味があるとのことですので、本町農業にとつて繁栄の年となるよう期待を抱きつつ組合員並びにご家族の皆様方におかれましても益々のご発展と稔り多い一年となりますことをご祈念申し上げます。年頭にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

令和2年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会会長

飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい令和2年の新年を迎えられたものと心より、お慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先に道内各

地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部蒔き直しが必要になった地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が104の「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込

まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができたと感じております。

しかしながら、全国的には8月末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。

国際貿易交渉については、昨年2月1日に日EU・EPAが発効となり、日米貿易協定は昨年10月に署名がなされ、国会審議を経て12月4日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、1,100億円の生産減少額のうち3〜4割が北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行っております。今後も動向を注

視し、北海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めてまいります。

さて、JAグループ北海道は、昨年11月12日に第29回JA北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、JAグループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信すること目的として、JA北海道大会実践フォーラムを開催したところです。

引き続き、組合員・JA・連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組み、基本目標の達成につなげてまいります。

結びになりますが、今年の干支は庚子(かのえね)です。子には、「ふえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がぎざし始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとつて輝かしい未来が芽生く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、役職員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。

2019北海道ホルスタインウインターフェア



10月27日、2019北海道ホルスタインウインターフェアが、十勝農協連家畜共進会場で行われ、審査員を中標津町 酪農家、久保剛氏が務められました。

本町からは、佐藤孝一牧場、(有)ミックランデーリィ、(株)エスティリアデیلیーサービスの3戸から6頭の出品があり、佐藤孝一牧場の第6部末経産ミドルクラス出品 プラムオーチャード DS ソロキム ET号が1位を獲得しました。

なお、出品牛の主な成績は次の通りです。

2019北海道ホルスタインウインターフェア 入賞一覧

部	順位	名 号	地 区	出 品 者
カーフクラス	6位	ミックラン Dバツク メルモ	東豊似	(有)ミックランデーリィ
//	5位	エスティリア BL ケリーズ ソロモンケール ET	紋 別	佐藤 孝一
育成シニアクラス	4位	SEA-LAKE ラマドナ ブローカウ ET	//	//
末経産ミドルクラス	1位	プラムオーチャード DS ソロキム ET	//	//
ジュニア2歳クラス	3位	OTR ドアマン ビスタ 2 ET	東豊似	(株)エスティリアデیلیーサービス
//	6位	ミックラン ブローカウ アベリー ET	//	(有)ミックランデーリィ

新年明けましておめでとうございます



J Aひろお女性部部长

川崎 恵

女性部の皆様、並びに組合員、ご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は女性部の活動に特段のご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年は平成から令和へ変わり、新しい時代が始まりました。

女性部も任意加入となり、新しい体制となりました。

新体制の役員は、初めての部長、初めての役員でどのように進めて良いのか戸惑っていましたが、ベテランの部長さんのサポートや「アソ部」「マナ部」「ムス部」の3つに分かれて仕事を分担することで役員は助けられ、今までの「役員になると大変…」という考えが、気が付けばなくなっていました。

女性部全員で新女性部を創り上げ、人数は減ってしまいましたが、とても濃い活動ができたと思います。

本年も部員一丸となり笑顔いっぱい女性部にしていきたいと思っています。ですので、皆様の更なるご支援ご指導をお願い申し上げます。又、女性部に加入していない方への加入のお願いをいたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



謹んで新春をお祝い申し上げます



J Aひろお青年部部长

横井 豪太

青年部員並びに組合員、ご家族、関係機関の皆様、新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、青年部活動に対しまして特段のご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

私は、昨年2月に開催された当青年部の定期総会において、部長を拝命させて頂きました。初めての部長という大役に不安があり、部長の業務を全うすることが出来なく、たくさんの方に多大なるご迷惑をかけてしまったことを悔やんでも悔やみきれません。この場を借りてお詫び申し上げます。

さて昨年は、降雪量や自然災害の少ない1年でした。青年部活動においても、例年行っている除角作業・3町合同スポーツ交流会・出前授業・十勝大会参加等、1年を通じて活動を行い部員相互の交流、地域との交流を図って

参りました。

特に除角作業においては、防疫について役員で話し合い、部員に洗浄・消毒の基本を徹底してもらったことを周知して各農場を回らせてもらいました。

今後も、農場に出入りするにあたって対策を徹底して活動を行っていきまので、安心して利用していただけると幸いです。

今年も除角作業などの営農サポートや食の大切さ、命の大切さを伝える食育活動を通して部員間の連携、地域との交流を精力的に行い、また、新たな取り組みについても部員内で協議し、模索していきたいと考えています。

本年も部員一丸となり、本町農業の発展に向けて一層努力して参りたいと考えておりますので、皆様方の更なるご支援、ご指導をお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

第21回 ミルクフェスティバル

11月15日、第21回ミルクフェスティバルが広尾町農村環境改善センターで行われました。

始めに、共立製菓株式会社 北日本営業所 所長 馬智之氏より、「乳房炎用ワクチン」スタートバックの最近の話題」と題して、黄色ブドウ球菌・大腸菌群等による臨床型乳房炎の症状を軽減するワクチンであるスタートバックについて、その使用方法・効能と十勝地域の使用状況について詳しく講演いただきました。

また、ご協賛いただいた企業の方々より代用乳やスターター、自動代用乳作製機といった酪農用資材の展示について説明をいただき、参加された生産者の皆様も熱心に聞き入っていました。

講演終了後に懇親会が行われ、ミルクキーズから提供されたチーズやお菓子、ケーキ等を食べながら親睦を深めました。

講演会の資料がありますので、興味のある方はお気軽に農業支援課までお問い合わせ下さい。



乳房炎用ワクチン「スタートバック」 フォローアップセミナー開催される

11月25日、ホテルグランテラス帯広で共立製菓株式会社主催による乳房炎用ワクチン「スタートバック」フォローアップセミナーが開催されました。

スタートバックは日本初の乳房炎用ワクチンとして共立製菓株式会社が開発し、主に黄色ブドウ球菌及び大腸菌等を原因とした乳房炎の発症予防及び臨床症状を軽減することを目的としたワクチンです。

今回のセミナーではスペインの酪農コンサルタント会社（Q・I・L・E T・S・L・P）代表のオリオール・フランケサ・オラー氏、酪農学園大学獣医学科医学類生産動物医療学分野所属の安藤達哉氏、かごしま中部農業共済組合基幹家畜診療所勤務の検崎真司氏の3名がワクチン使用に係る事例紹介とその効果について講演されました。

スタートバックは、分娩予定の45日前、10日前、及び分娩予定日の52日後（いずれも前後4日可）の計3回を投与する手法となっており、効能として乳房炎発生の予防及び発症時の初期症状の軽減化、治療期間の

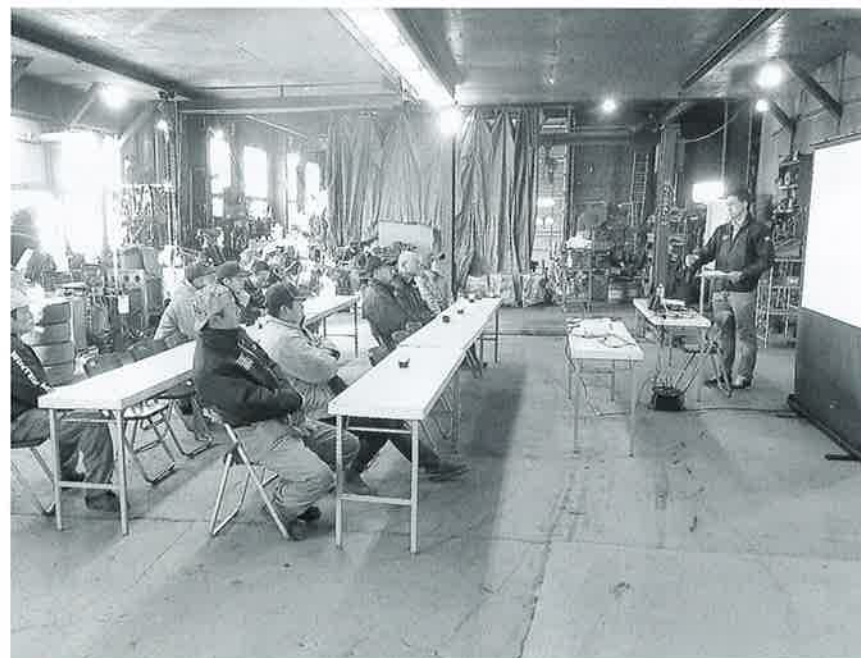


短縮化を図ることができ、他に乳牛の食欲不良、活力低下の軽減、充血・眼球陥没等の症状の軽減にも寄与することができるとのことです（※ただし、乳房炎の発生を完全に抑制・軽減・根治をさせるものではありません、多岐にわたって存在する乳房炎対策の一つとしてご理解下さい）。

農業支援課では乳房炎用ワクチン「スタートバック」の、接種費用の一部助成を行っておりますのでお気軽にご相談下さい。

整備工場技術講習会

～タイヤショベルの整備と安全作業について～



11月30日、車両整備工場にて技術講習会が行われました。

この講習会は、工場を利用している組合員を対象に機械や自動車の簡単なメンテナンス方法について学び、長く使用していたために毎年開催しています。

今回、日本キャタピラー㈱の久米氏を招き、タイヤショベルでの安全作業と、整備等の説明を受けた後、作業事故の実例再現ビデオを鑑賞しました。

今回の技術講習会により日頃の整備等を含め、安全に作業する大切さを改めて学ぶ事ができました。

令和元年度 第2回地区別学習会

10月21日、野塚農業研修センター、31日、広尾町農村環境改善センターで第2回地区別学習会が開催されました。

柳清流酪農サービス代表取締役海田佳宏氏が講師を務め、今回は「周産期病について考えよう②ケトosisと第4胃変位」というテーマで、町内の生産者や実習生15名が参加しました。

ケトosisとは、ケトン体（アセトン、アセト酢酸、3-ヒドロキシ酪酸）が体内で多量に生産され、食欲低下や乳量減少などを招く症状です。泌乳初期に発生し、過肥症候群や第4胃変位などと関連することが多く、分娩前後のマイナスのエネルギーバランスと関係があるとされています。対策として、乾乳期にバイパスコリン剤や加熱処理大豆粕の給与、分娩後の食欲不振時にプロピレングリコールを給与するといった方法が有効であるとされ、体内で多く生産されたケトン体を体外へ排出することが重要になります。

今回の地区別学習会の資料が農業支援課にありますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。



広尾町農協酪農部会視察研修

11月7日、広尾町農協酪農部会の視察研修が行われ、部会員7名が参加しました。今回は、十勝管内における搾乳ロボット等の導入による省力化を実践している2つの牧場を視察しました。

①中札内村 (有)中島生産組合

(代表・阿部敏巳社長)

労働力は役員・正社員含めて20名、粗飼料の収穫作業は自らのコントラ組織で行っています。飼養頭数は1,280頭の内、経産牛は635頭、搾乳牛



中札内 (有)中島生産組合
オリオン機械㈱の担当者よりロータリー型搾乳ロボットの説明を受ける



中島生産組合 搾乳牛舎前で記念撮影

590頭、飼料畑面積は272ha。当牧場の最大の特徴は国内初号機となるGE Aロータリー型搾乳ロボット「Dairy pro Q」(40頭分)です。今年の4月5日より稼

働し、搾乳作業を従業員がほぼ1人に対応し、1日3回搾乳しています。牛が入室通路から1頭ずつ立ち止まることなくロボットBOX内に乗り込むとユニットが動き出しライナー装着後、乳頭マッサーで清拭し前搾り、搾乳、ポストディッピングの作業を全自動で行います。個体乳量は日量約36kgで、搾乳ロボット1台当のコストは約1,300万円です。ロータリーは10分で1回転し、搾乳時間は約3時間で終わります。現在、経産牛用のフリーストール牛舎1棟を建設中で規模拡大を図る方針です。

②音更町 ノーサンファーム㈱

(代表・大関輝男社長)



音更町 ノーサンファーム㈱
搾乳ロボット牛舎内の風景

日本農産工業㈱の100%出資の子会社であり、乳用牛飼料及び飼養技術の開発を目的に設立され、本年5月27日に稼働しました。飼養施設は経産牛用のフリーストール牛舎(搾乳ロボット2台)、哺育牛舎(搾乳ロボット2台)と現在建設中の育成牛舎で、全ての施設が病気発生リスクを回避するため2群管理できる設計となっており、関係施設費用等(農地取得費用・堆肥舎・格納庫・固液分離機等)を含めた総事業費が約7億5,000万円です。



ノーサンファーム㈱の大関社長より搾乳ロボットの説明を受ける

でホクレン十勝家畜市場から経産牛を開催日毎に少しずつ購入しています。搾乳施設はLELY「アストロノットA5」の2台のみで、繋ぎ牛舎等の手搾り用の施設が無いため、搾乳時間が長い牛等はロボットBOX内でバケットミルカーを使用し、治療牛は搾乳ロボットで行います。また、フリーストールの牛床マットは道内初導入のナスアグリ「DCCウォーターベット」を使用しています。1牛床当りの費用は約7万円で、冬期間は不凍液を使用する予定です。通路用マットはナスアグリ「ZING ZAGマット」を採用し、名称のとおりでジグザグ構造により滑りにくく、耐久性に優れています。労働力は4名体制で、勤務時間は8時から17時までの範囲内でローテーションを組んでおり、夜間分娩は対応しておりません。視察研修の詳しい内容について、興味のある方は営農販売課までお問い合わせ下さい。

広尾町和牛改良組合 視察研修

11月19日、22日、広尾町和牛改良組合九州視察研修が行われ当組合から6名が参加しました。宮崎県都市内、都城和牛育種組合久留雅博組合長、J A都城堂村課長補佐、尾崎主査、久留組合長の息子さんを交えて宮崎牛をいただきながら意見交換会が行われ、久留組合長は「私は元JA職員で、その

当時の人間関係に支えられ、自分の牧場を持つ夢を現実に出来ている。」とお話しされました。また宮崎県供用雄牛の精液、受精卵は県外に持ち出さなという話も聞き、県内で厳しく管理されているという事でした。その後もお互いの苦労や問題を真剣に語り合い大変貴重な時間を過ごすことができました。

宮崎小林家畜市場

20日に開催されていた和牛素牛市場を視察しました。上場頭数雌148頭、去勢192頭、計340頭が出品され、そのうち売買成立数が330頭、成立率が97%になる事に大変驚きました。雌平均体重283kg、去勢平均体重308kgと十勝と比べると小さめで、日齢も280日程度と300日を越えている個体はわずかでした。20日の最高価格が1,657,700円で、平均価格が826,711円、平均kg単価2,796円という結果でした。県供

用牛の「耕富士」「満天白清」が比較的高値を付けている印象を受けました。県内外から購買者が来場しいつも満席となるということで活気ある市場を実感できました。

久留牧場視察

意見交換会でお世話になった、久留組合長の牧場を視察しました。都城市内の住宅街に突如牛舎が見えてくるといった感じで、北海道では見慣れない光景でした。和牛飼養頭数は全頭自家産で繁殖牛80頭前後、育成牛40前後、繁殖牛は繋ぎ飼いをしています。牛群の交配種雄牛は、ほぼ「耕富士」、今は「満天」を授精しているとのこと、市場の動向を注視していました。また、施設内は機械が入れないので除糞など手作業の部分も多く苦労する事もあるそうです。住宅街にあるため近隣に迷惑をかけないようにと、外側にはネットを張るなどしてハエの対策をされていました。「全国共進会でお互いに出品する事になれば、是非協力するので



共に頑張ります。」という熱いお言葉をいただきました。今回の視察を通して、北海道外の営農状況や市場の動向を肌で感じ、新たな出会いと人との繋がりをもちことができ、大変有意義な研修となりました。

外国人技能実習生現地視察

(インドネシア)

10月28日～11月1日、インドネシアにて外国人技能実習生の現地視察が行われました。

視察は当J Aと同じ送り出し機関から受け入れをしているJ A忠類、J A鹿追町と合同で行われ、当J Aからは5名が参加しました。

この度の視察は、現在受入を実施している中国の経済発展が加速化し、日本で研修を希望する中国人の技能実習生が減少傾向にあることから、日本での研修希望者が多数在住するインドネシアの現状確認と日本語研修施設の「ブラン・パラパ研修技能実習協会」の視察を目的に開催されました。

視察内容も踏まえ、当J AとJ A広尾外国人研修生受入農家連絡会にて今後の方針について協議を進め、引き続き技能実習生の受け入れをサポートして参



ります。受け入れ希望がある方や、ブラン・パラパ研修技能実習協会の詳細については農業振興課までご相談ください。

年金相談会

11月14日、広尾町農村環境改善センターで特定社会保険労務士の方を迎え年金相談会を開催しました。

この相談会は、年金の請求手続きや受取方法、受取金額など年金に関する事について個別に相談する形式で毎年行われており、当日は、まもなく年金を受け取られる方を中心に5名が参加し、それぞれの方が社会保険労務士のアドバイスに熱心に聞いていました。年金制度は、受給開始年齢や受給金額の変更などがあり理解するのが大変だと思われるが、相談会では専門の社会保険労務士から解りやすく説明されるので、参加者から大変好評をいただいています。

金融・共済課では、今後も継続して相談会を開催して参りますので、これから年金を受け取られる方や年金の仕組み等について詳しく知りたい



方は、是非参加下さいますようお願いいたします。

また、年金友の会では新規会員を随時募集しておりますので、当J Aで年金を受け取られている方や、受け取りを予定されている方は金融・共済課までお問い合わせください。

不法投棄合同パトロール行われる

11月12日、町内の各団体参加による不法投棄合同パトロールが町内で行われました。

このパトロールは、河川や山林道に不法に投棄されたごみの状況調査および回収作業を目的として毎年2回行われております。

毎年のパトロールの成果によって不法投棄については年々減少傾向にありますが、未だに一部の地域では家庭ごみや電化製品等が見つかり、検挙に至るケースもあります。不法投棄根絶のため、不法投棄を発見した場合は警察等へ連絡をお願い致します。



不要農機具・車輛等回収処理事業行われる

11月18日～22日の5日間、中山間地域等直接支払交付金事業の集団取組み活動の一環として不要農機具・車輛等回収処理事業が行われました。

本年度の事業実施戸数は31戸で、車輛1台、農機具12台、その他雑品等を回収しました。

不要農機具や車輛などの適正処理は使用者の義務ですので、適正処理を行う上でも回収処理の際にお申し込み下さいますようお願い致します。



農業用廃プラスチック類回収行われる

11月25日～26日、中山間地域等直接支払交付金事業の集団取組活動の一環として、本年度2回目の農業用廃プラスチック類の回収が行われ、集積場に52戸より約100tが回収されました。

農業用廃プラスチック類の処理にあたっては、リサイクルによる処理が基本であり、回収された廃プラスチック類もリサイクル処理により、固形燃料等の再生品に生まれ替わっています。

廃プラスチック類の適正処理は使用者の義務であり、所有地への埋め立てや野焼き、山林・河川への不法投棄は法律で禁止されていますので、適正処理を行う上でも年2回の回収の際にお持ち下さいますようお願い致します。



「営農計画書」の提出はお早めに

令和2年度の営農にあたって「営農計画書」は経営の指針となるものであり、本年度の目標を決める大切な計画書でありますので、ご家族皆さんで十分相談の上、期限までに提出されますようお願い申し上げます。

なお、提出期限を過ぎても未提出の場合には計画書が提出されるまで組合員勘定による資金の提供は出来ませんので宜しくお願い申し上げます。

■提出期限■

令和2年1月20日㊥

農協記念日式典

「コンプライアンス研修開催」

11月16日、農協記念日の式典が広尾町農村環境改善センターで役職員の出席により開催されました。

この催しは、農業協同組合法が昭和22年11月19日に制定されたことを記念して毎年この時期に行われています。式典では萬亀山組合長の訓辞の後、



職員の永年勤続表彰並びに農協職員資格認定試験等の資格取得に対する表彰を行い、受賞者を代表して総務課の宮武課長補佐より謝辞が述べられました。

式典終了後、北海道農業協同組合学校専任講師の近藤繁夫氏を講師に迎え、「JAグループにおけるコンプライアンスの実践」というテーマで講演が行われました。

まず、個人情報情報の取扱いに関するチェック項目を講師が読み上げ、普段どのように情報を管理しているか参加者各々で確認をしました。続いてリスク管理の構築と実行についてお話しされ、外部・内部監査による検査と職員同士の声かけや気遣いをしながら、任せっぱなしにしない事が大切だということ、また、適正な人事異動や業務を複数人で担当することで不正を回避し、他にもなかなか出来ないことですが職員教育研修においては経営者や管理者自ら将来ビジョンを熱く語ることも大切なことだとおっしゃいました。

『雇用保険正しい受給で確かな就職』

雇用保険は、失業中の生活を心配せずに仕事探しに専念し、一日も早く再就職していただくために失業等給付を支給することを目的とした制度です。

また、雇用保険は、労働者及び事業主の皆さんに納めていただいた保険料と、国民の皆さんからの貴重な税金によって運営されています。

ところが、働いている事実を申告しないなど偽りまたは不正な手段により、基本手当、特例一時金などの支給を受け、または受けようとするなど不正受給が後を絶ちません。

一部の受給者によって不正な受給が行われることは、雇用保険制度の健全な運営を阻害することになりかねません。

もし不正受給をしますと、最大で不正に受給した金額の3倍に相当する金額を納めなければならないなど、大変厳しい処分を受けることとなります。

雇用保険制度を正しく理解していただくために、本制度の周知を行い、不正受給未然防止の啓発活動を行っています。

本趣旨をご理解いただき、“正しい受給”にご協力いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

ハローワーク帯広（帯広公共職業安定所）
帯広市西5条南5丁目2
TEL0155-23-8296（11＃）

防火訓練



11月11日、JAひろお本所事務所で防火訓練が行われ、火災発生を消防署に通報する訓練と、消火器による初期消火訓練を行いました。

まず、実際の火災を想定し、施設内に設置されている火災報知器が作動し、火災発生場所を特定した後、初期消火と消防署へ火災の通報、建物内にいる人たちに火事を知らせる避難誘導を行うまでの一連の動作を確認しました。



次に火事の発生を消防署に通報する訓練を行い、住所、建物の名前、自身の氏名、連絡先の電話番号を伝え、初期消火活動の状況や、建物内の人の残存状況などについて正確に伝える事を体験し、緊張しながらも丁寧に説明していました。また、消火器の取り扱いの説明を受け、それぞれ火災のめがけて放水訓練を行いました。

火災が大きい場合は迷わず避難して自らの安全を確保すること、人命を第一に避難誘導を行うことなど初動動作を確認し訓練を終了しました。

農家実習を終えて



10月15日～18日に中川牧場で農家実習を行わせていただきました。

初めての体験する事ばかりで戸惑うことも多かったのですが、中川さんご家族にアドバイスをいただきながら充実した実習をすることができました。

今回の実習で学んだことを忘れず、今後の業務に活かせるよう頑張っていきたいと思います。

工藤 佑介



JAひろお年金友の会 観劇温泉湯治旅行

11月6日～8日までの3日間、JAひろお年金友の会の観劇温泉湯治旅行が十勝川温泉笹井ホテルで行われました。

募集しております。詳しくは金融部までお問い合わせ下さい。

お目当てのお芝居は、市川市二郎座長が率いる劇団三軒屋による華麗な舞踊や人情芝居が行われ、2日目の午前と午後の公演を楽しみました。

初日の夜は、温泉で日頃の疲れをゆつくりと癒した後、ホテル自慢のバイキング料理に舌鼓を打ち、2日目の夜は懇親会が行われ、カラオケやビンゴゲームで盛り上がりました。

年金友の会では今後も各種行事を予定しておりますので、多数の参加をお待ちしております。

また、新規会員を大



育成牛体測プロジェクト結果から⑦

柳清流酪農サービス 代表取締役 海田佳宏

町内で行った育成管理の改善事例について紹介します。

改善事例① 哺乳管理の改善

哺乳期間の増体目標は、2ヶ月齢で生時体重の倍です。日増体量の目標は0.67kg/日になります。

当プロジェクトで計測した実態調査では十分な子牛の増体が確保されている農場は4割程度でした。この結果を踏まえ、哺乳管理の改善を行った事例を紹介します。

改善内容は、哺育ロボットでの飼養開始を機に、哺乳量を増量しました。それまでは粉ミルクの使用量が日量500gであったのを1kg程度に増量しました。日増体量は0.56kg/日から0.78kg/日に向上しました(表1)。

発育が改善されたのは、哺乳量だけでなく、飲水や固形物の摂取環境が改善されたことも関連していると思われます。

表1 哺乳管理の改善と増体

項目	調査頭数(頭)	増体体重(kg/日)	生後60日換算体重(kg)
改善前	10	0.556	73.3
改善後	20	0.784	87.0

改善事例② 育成時期の給与飼料内容の改善

次の事例は、種付け時期に発情が不鮮明であることをきっかけに、育成期の栄養を見直した事例です。

蛋白栄養を充足させるため、育成牛の給与飼料の一部を加熱処理大豆粕に置換えました。その結果

図1 育成期の栄養改善と体重の変化

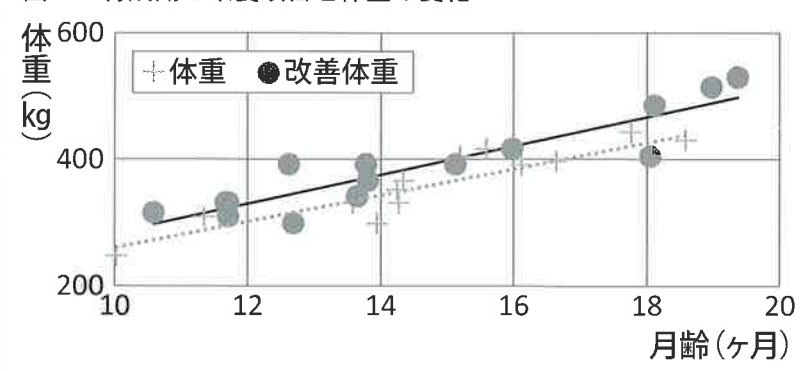
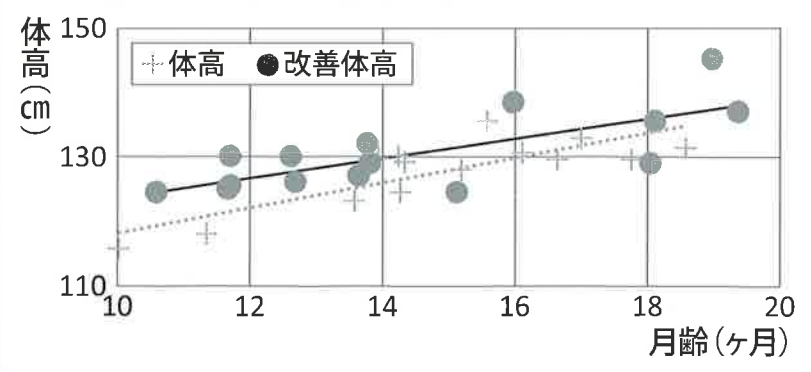


表2 育成期の栄養改善による初産牛成績の変化

年次	初産分娩月齢(ヶ月)	305日補正乳量(kg)
2017	24.8	11,271
2019	23.2	12,286
差	-1.6	1,015

を図1、2に示しました。体重ともに増体が改良され、約2ヶ月分増体が促進されました。その結果、初産分娩月齢は1.4ヶ月短縮され、初産牛の補正乳量(産次、乳成分や分娩時期を補正した乳量)は増加しました(表2)。

図2 育成期の栄養改善と体高の変化



蛋白質は育成の発育にとって重要な役割を果たし、骨格の形成に不可欠で、初産乳量にも影響を及ぼすことが確認されました。

(つづく)

広尾警察署からのお知らせ 冬の暴力追放運動

令和元年12月15日(日)から令和2年1月14日までの間は、『冬の暴力追放運動』の実施期間です。

●運動の重点目標

- ①暴力団の違法な資金獲得活動の実態周知と被害防止
 - ②少年に対する暴力団の影響排除と環境の浄化
- 暴力団追放「三ない運動+(プラス)1(ワン)」
- ・暴力団を『利用しない』『恐れない』
 - ・暴力団に『金を貸さない』
 - ・暴力団と『交際しない』

これを合い言葉に暴力のない明るく安全な地域社会の実現を目指しましょう。



●飲酒運転の根絶

大丈夫? 昨日のお酒も 気をつけて

1. 飲酒運転は、悪質な犯罪で厳罰に処罰されます。
2. 飲酒運転は、運転者以外も処罰の対象となります。
3. ハンドルキーパー運動で飲酒運転を防止してください。
4. 飲酒運転情報の提供をお願いします。
5. 二日酔いでの運転はしないでください。



【広尾警察署 2-0110】



JAグループ北海道は、日米貿易協定の発効を目前に控えた状況下で、総合的なTPP等関連政策大綱などの見直し、経営所得安定対策の単価改定、加工原料乳補給金単価の設定など、農業の担い手が意欲と希望を持って一層の農業経営の体質強化に向かえるよう、政府・与党等に対し働きかけを行って参りました。

結果として、農業関係補正予算、当初予算とも前年を上回る額が措置されることに加え、農業生産基盤の強化や家族経営への支援などが盛り込まれるなど、北海道の農家・組合員の営農継続に一定の道筋をつけられました。

今後も北海道の農家・組合員が国際競争や災害に負けない力強い農業・農村の構築と所得向上の実現を図り、持続可能な北海道農業の確立に向けて取り組んでまいります。



※吉川前農林水産大臣に要請書を手渡す
JAグループ北海道要請団

JA北海道信連



JA北海道大会の将来ビジョンの実現に向けて、JAグループ北海道農業経営フォーラムを札幌市内で11月に開催しました。今回のフォーラムでは、「農業経営に地域の魅力をいかす」をテーマに、宮城県で主に水稻と養豚を営む有限会社伊豆沼農産の伊藤社長より農村自体を産業化する取り組みについて、商品ジャーナリスト北村森氏より道内農畜産物の魅力を伝える秘策について講演がありました。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、11月8日より「JA共済有村架純&浜辺美波の限定LINEスタンプ」のダウンロードを開始しています。JA共済限定LINEスタンプの提供は、JA共済へ興味・関心をもっていただき、資料請求者をより一層拡大していくことを目的としております。有村架純&浜辺美波の限定LINEスタンプのダウンロードについては、QRコードを読み込み、アンケートに回答いただきますとダウンロードする事ができます。



ホクレン



ホクレンは、コーポレートメッセージ「つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に」を広く発信し、北海道農業とホクレンの事業をわかりやすく伝えるためにアニメーション動画を制作し、12月19日からYouTube上で公開を開始しました。動画の主題歌には槇原敬之さん、主人公役の声優には「なつぞら」の番長役の板橋駿谷さんを起用し、WEB媒体を活用して道内生産者・JAおよび全国の消費者・取引先へ広く発信していきます。



JA北海道厚生連



令和元年11月30日（土）遠軽厚生病院にて遠軽町・湧別町・佐呂間町の中学生を対象に医療技術体験セミナーを開催しました。

当日は、46名の参加がありました。薬剤師や検査技師などの仕事を知り、進路選びの参考にしてもらう狙いで、毎年実施しています。

今後も継続して実施していきたいと思ひます。



JAグループ北海道は11月14日に東京都にて、「経営所得安定対策の単価改定」と「総合的なTPP等関連政策大綱の見直し」に向け、道内与党国会議員や農林幹部に対する中央要請、並びに農林水産省と意見交換を実施しました。経営所得安定対策では3年に一度の単価改定の見直し議論が行われていることから、輪作バランスや畑作経営に対する影響を考慮し、単価が大きく変動しない単価設定とすることや、各作物の生産振興対策などを求めました。TPP等関連政策大綱の改訂にあたっては、相次ぐ大型貿易協定の発行による、中長期的な北海道農業に与える影響が大きいため、各作物別の需給調整・価格安定対策の充実強化、生産基盤の強化に向けた対策を求めました。

今後も、北海道の農家・組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



JA北海道信連



収穫体験や調理体験等の独自イベント、「旬食カレッジ」は今年で4年目となり、今回は一般の女性の方々を対象に、8月、江別市で開催しました。また、全道各JAの協力を受け、今年度から新たに「親子で学ぼう!あぐりキッチン教室」を、全道各地で延べ25回開催しました。これらの食農教育活動を通じて、食や農に対する関心を高め、JA・JAバンクのサポーターを育てる取り組みを行っています。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、「2019年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を10月26日（土）にANAクラウンプラザホテル札幌にて開催しました。46回目を迎える同コンクールは、全道より3,296点の応募をいただき、その中から金賞9作品が選出され受賞されたみなさんが表彰されました。

今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されております。



ホクレン



ホクレンと北海道米販売拡大委員会は10月17日、北海道産の2019年新米発表会を東京都内で開きました。発表会には鈴木直道・北海道知事とCMキャラクターを務めるタレントのマツコ・デラックスさんらが出席しました。ホクレン内田和幸会長より「今年は、ご満足いただけるおいしい北海道米をお届けできます」とアピールし、マツコさんはステージ上で新米を試食し、「実は一番好きなのがこの『ふっくりんこ』と楽しいトークで盛り上がりしました。



JA北海道厚生連



10月23日（水）ホテルポールスター札幌において、令和元年度北海道福祉のまちづくり賞の表彰式が行われ、JA北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周が公共的施設部門の「北海道福祉まちづくり賞」を受賞しました。この賞は福祉的配慮に優れた公共的施設等におくられるもので、福祉・建築・市民活動等の有識者で構成する会にて審査が行われ表彰が行われました。この賞を機に施設としての充実だけでなく、入居者の皆さんの生活の充実に向けて更なる向上を目指したいと思ひます。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介しします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業

耕そう、大地と地域の未来。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介しします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業

耕そう、大地と地域の未来。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>



組合員の皆様に、ネットワーク事業の推進状況をご報告申し上げます。

1. 生産・販売の強化について

- 平成28年度に策定した「十勝農業ビジョン2021～世界に誇る十勝農業～」に示した基本姿勢に従い、5年後の農業生産額の目標3,500億円達成に向けて取り組んでいます。中間年に当たる本年は、「十勝農業ビジョン2021」に示した目標を達成するための課題への取組状況について、会員 JA へのヒアリングを行うなど、今後の取り進め方針について検討を進めています。
- 「Made in 十勝」ブランド事業については、「ホクレンくるるの杜での対面販売」「とかちマルシェ」、「HTB 創世マルシェ」などのイベントに出店したほか、十勝和牛振興協議会、ミルクランド北海道事業とも連携して、会員 JA 特産品の PR に努めています。また、「ごちそう共和国通信」を発行し、会員 JA の取り組みを共有するとともに、十勝統一の PR 戦略として知名度向上に取り組んでいます。
- 「十勝型 GAP」については、農林水産省の示す「農業生産工程管理 (GAP) の共通基盤に関するガイドライン」にチェックリストの内容を準拠させ、全生産者を対象として、引き続き取り組んでいます。また、国際水準 GAP の取り組みについては、十勝地区農協組合長会と連携し検討を進めています。

2. JA経営の強化について

- 平成22年度に策定しました「管内 JA 全体の経営戦略」に基づき、優秀な職員の確保・育成のために、専用ホームページによる管内 JA 職員採用情報の提供を行っています。

作目別生産部会の現在

内地の農協が集落をベースにした運営体制をとってきたのに対し、開発が新しく伝統的な集落を持たない北海道では農事実行組合（戦後は農事組合）をその代替としてきた。1930年代に農家20戸を単位として設立されたもので、1980年には9,000組織でピークをなすが、現在では3,700組織にまで減少してしまった。

購買品の取り纏めや作付け調査、クミカンの連帯保証など農協にとっては運営の基礎をなしてきた。時代も移り変わって、農家と農協との取引も直接的なものになり、中山間地域直接支払など新しい機能を担う面もあるが、地域や生活面での協同を担う地縁的な組織に変わってきた。

これに対し、組合員組織として重要になってきたのが作目別生産部会である。これは、稲作や酪農などの専作経営地帯ではなく、十勝やオホーツクなどの畑作地帯から1970年代以降に形成されてきた。

さらに、1980年代からは野菜作や肉牛の導入など農業所得の向上を目指した土地利用・経営の複合化のなかで、生産部会は一般化をみせる。

地域農研では1994年に全道の部会アンケート調査を実施し、部会数1,923、構成員114,554戸という結果を見た。それから25年が経過し、農協業務報告書をめぐり部会組織の概要をまとめる作業をやってみた。記載のあった95農協の合計で、部会数が1,045、構成員は67,084戸となった。25年前と比べて組織数も構成員数も半減しているが、農家戸数の減少と比較すれば組織体制は強化しているといっている。

直売部会の増加など新しい動きを確認できたが、さらに突っ込んだ調査を実施し、北海道に特徴的な機能集団としての成長ぶりを明らかにしてみたい。

(研究所長 さかした あきひこ)

自己紹介

4月から地域農研の専任研究員として着任いたしました、脇谷祐子と申します。2009年の4月に北大の博士課程に社会人入学し、飯澤理一郎教授・坂爪浩史准教授が率いる食料農業市場学研究室に在籍しておりました。10年が経ち、2019年4月からは飯澤先生が所長を務める研究所に着任いたしました。

4月3日に当研究所の所長であった飯澤先生に、「順番で行くと自己紹介は9月の研究所だよりに掲載されるので、原稿をよろしく」と、言われました。

私は、その日のうちに早速原稿を書いたのですが、心境が変わり書き直すことにしました。心境が変わ

った理由は、飯澤先生とのお別れです。

私は、大学・大学院修士課程と前職はキリスト教系の私立学校におりましたので、聖書の学びを受けておりました。その中に、周りの人を想う飯澤先生と重なる1節があります。「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

〈旧約聖書 エレミア書29章11節〉

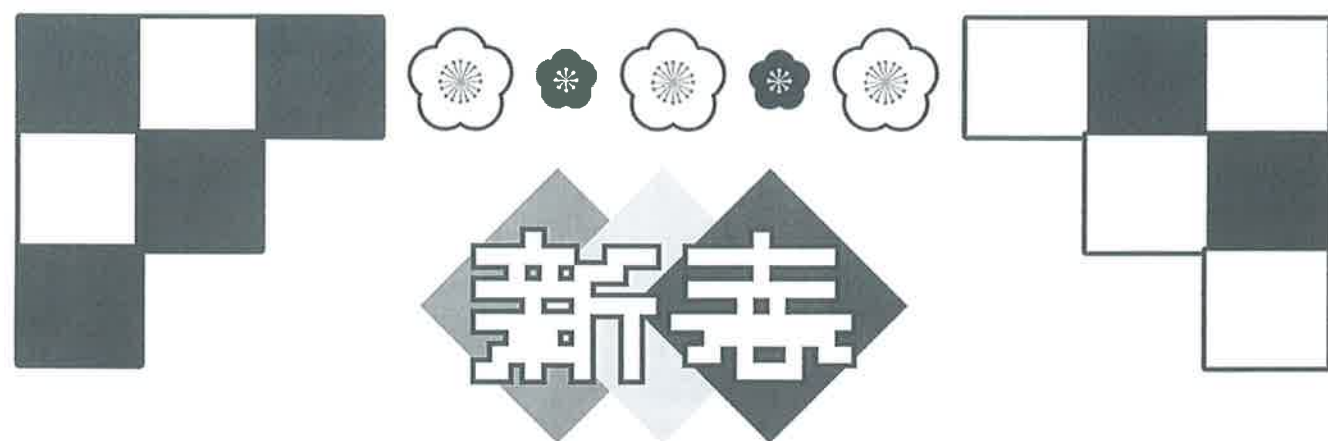
(研究部専任研究員 わきや ゆうこ)

発行：一般社団法人 北海道地域農業研究所

電話番号 (011) 757-0022

ホームページアドレス <http://www.chiikinouken.or.jp/>

閲覧可能書誌 『地域と農業』・『地域農業研究年報』・研究叢書・学術叢書・研究報告書



新春

特別定期貯金

組合員様限定のプレゼント！

対象者

正組合員
(家族・構成員含む)

優遇措置

定期貯金
金利の上乗せ

対象貯金：スーパー定期貯金

預入貯金：10万円以上

預入期間：1年以上

適用金利：1年以上→店舗金利+0.05%

R2.1.6月~31金



第9回 理事会

開催日時
開催場所

令和元年10月24日（木） 午後1時00分
広尾町農村環境改善センター 視聴覚室

●議案

- 議案第1号 規程類の一部改正について
- 議案第2号 出資金の払い戻しについて
- 議案第3号 組特組合員の再編について
- 議案第4号 令和元年新規就農者営農計画について
- 議案第5号 信用供与等の額の設定について
- 議案第6号 令和2年度営農計画書の審査方針について
- 議案第7号 令和2年度生乳計画生産目標数量の設定について

●協議事項

- 1. 農地保有合理化事業の申し込みについて
- 2. 地区別営農懇談会の開催について
- 3. バイオガスプラント設立に向けた進捗状況及び今後の取り組みについて
- 4. 新規就農及び農業従事者確保対策(案)について
- 5. 家畜衛生対策費用支出に係る財源及び乳質ペナルティーの使途(案)について
- 6. 「令和元年度台風等にかかるJAグループ支援募金」の実施について

●報告事項

- 1. 9月末経営定期点検の結果について
- 2. コンプライアンス・プログラム進捗状況について
- 3. 組合員の脱退について
- 4. 第72回農協記念日行事について
- 5. マネロンガイドラインに基づくギャップ分析結果について
- 6. 固定資産取得計画の見送りについて
- 7. 組特組合員の9月末組合員勘定取引実績について
- 8. 令和元年度重点取組事項の進捗状況について
- 9. 令和元年度収支予測について
- 10. 令和元年度畜産クラスター事業(機械導入事業)の配分通知について
- 11. 令和元年度畜産経営体生産性向上対策事業(畜産ICT事業)の事業承認及び2次募集取りまとめ結果について
- 12. 令和2年度外国人技能実習生の受け入れについて
- 13. 新規就農を考えるinひろお(仮)の開催予定(案)について
- 14. 農作物の生育調査について
- 15. 生乳生産動向について
- 16. 法定伝染病に係る淘汰状況について
- 17. 石油類価格の改定について

開催日時 令和元年11月26日（火） 午後1時00分
開催場所 広尾町農村環境改善センター 視聴覚室

第10回 理事会

●議案

- 議案第1号 出資金の減口及び払い戻しについて
- 議案第2号 信用供与等の特認区分及び特認額の変更について
- 議案第3号 営農中止に伴う期限の利益喪失について
- 議案第4号 経営所得安定対策に係る数量払い交付金の仮渡し要領(案)について
- 議案第5号 平成31年度北海道酪農体質強化対策費の使途の変更について

●協議事項

- 1. 年末年始の業務態勢について
- 2. 農地保有合理化事業の申し込みについて
- 3. 家畜特定疾病対策互助基金助成要領の変更(案)について
- 4. 家畜消毒費用助成に係る収支予測について
- 5. 地区別営農懇談会の意見・要望に対する回答について

●報告事項

- 1. 10月末経営定期点検の結果について
- 2. 組合員の脱退について
- 3. 内部監査の結果について
- 4. 組特組合員の10月末組合員勘定取引実績について
- 5. 各種資金の貸付に伴う貸付利息の変更と保証範囲の確定について
- 6. 農地等に係る信用評定委員会答申について
- 7. 令和2年度生乳生産における乳代単価について
- 8. 軽減税率制度導入に伴う生乳代金精算書の記載内容の変更について
- 9. 生乳生産動向について
- 10. 法定伝染病に係る淘汰状況について
- 11. 清掃・消毒車両貸付要領の変更(案)について
- 12. 令和元年度JAひろお感謝祭収支について

ご入会・ご利用で最大6,800円相当のポイントプレゼント

◎ポイントは「JAカード わいわいプレゼント」または「JAカード ゴールドポイントプログラム」でご利用いただけるポイントです。
◎特典の金額はポイントをキャッシュバック商品と交換した場合の金額(1ポイントを4円換算で交換)を記載しています。

JAカード
新規
ご入会で

もれなく**2,000円**相当のポイント
(500ポイント)をプレゼント

対象期間 2019年12月1日(日)～2020年3月31日(火)

上記期間中に新規ご入会(カード発行)の本人会員さま・家族会員さまが対象です。
◎ご入会(カード発行)日は、JAカードお届け時の「カード送付明細」でご確認いただけます(お申込日とは異なります)。
詳しくは(<https://www.cr.mufg.jp/ja/6800/>)をご覧ください。

キャンペーン
登録
不要

+

JAカードの
ご利用で

「ご入会サックスプレゼント」
最大**4,000円**相当のポイント
(最大1,000ポイント)をプレゼント

5万円以上ご利用いただくと200ポイント、ご利用金額に応じて最大1,000ポイントをプレゼントいたします。
詳しくは(<https://www.cr.mufg.jp/ja/thanks/>)をご覧ください。

キャンペーン
登録
必要

+

新たに
携帯電話
利用料金
のお支払いで

もれなく**800円**相当のポイント
(200ポイント)をプレゼント

◎au、NTTドコモ、ソフトバンク、ワイモバイルが対象
詳しくは(<https://www.cr.mufg.jp/ja/mobile200/>)をご覧ください。

キャンペーン
登録
不要

※プレゼントポイントの加算時期は、各特典によって異なります。

携帯電話利用料金のお支払いでさらにおトク!
ポイントが最大1年間2倍!

携帯電話利用料金のお支払いがあったご請求月のわいわいプレゼントの基本ポイントが2倍になります。お支払い開始が早いほどおトクです。

ポイント2倍対象期間 本人会員さまのご入会月から最大12ヵ月後(1年間)のご請求分まで

※JAゴールドカードは対象外です。

〈12月10日にご入会いただいた方の例〉

12/1 1/1 2/1 3/1 4/1 5/1 6/1 7/1 8/1 9/1 10/1 11/1 12/1 1/1

ご入会(12/10)

対象期間 1/27～12/27ご請求分まで

入会後すぐにお手配された場合
基本ポイント2倍期間(12ヵ月)

携帯電話利用料金をJAカードでのお支払いへ変更手続き

さらにJAカードはおトクが満載!

JA-SS、ホクレンSSでの給油
(ハイオクガソリン、
レギュラーガソリン、
軽油)
でのご請求時に
2円/ℓ
割引!!
(1ℓ未満切り捨て)

JA直売所・
ファーマーズマーケット
でのご利用で
ご請求時に
5%
割引!!
◎よりぞう

キャッシュレス・
消費者還元制度の
対象店舗では
2%または5%
ポイント還元
(対象期間)
2019年10月～
2020年6月(予定)

初年度年会費無料
ご利用条件を満たすと
次年度以降の年会費も無料に。
※JAゴールドカードは対象外です。

* Apple Payでのお支払いは、割引対象外です。

※一部、対象外の店舗、商品・サービスがあります。詳しくはご利用時に各店舗にてご確認ください。

※本紙掲載の特典は2019年11月現在のものであり、予告なく内容を変更または終了する場合があります。

※JAビジネスカード、JAコーポレートカード、JCBブランドのJAカードは、本紙掲載特典の対象外です。

お申込み・各種サービスについては、お近くのJA窓口、職員までお気軽に。

JAバンク
三菱UFJニコス株式会社

各種特典、サービスの詳細はWEBサイトにてご確認ください。

三菱UFJニコス JAカードWEBサイト
<https://www.cr.mufg.jp/ja>



1910-299931

今なら、
新規のご入会で
おトクに!

JA CARD

初年度年会費無料!
(一般カード)

—— JAカードのご入会とご利用で ——

最大**6,800円**相当の
ポイントプレゼント

JAカード新規ご入会で
もれなく**2,000円**相当のポイントをプレゼント

対象期間 2019年12月1日(日)～2020年3月31日(火)

上記期間中に新規ご入会(カード発行)の本人会員さま・家族会員さまが対象です。

◎ご入会(カード発行)日は、JAカードお届け時の「カード送付明細」でご確認いただけます(お申込日とは異なります)。

+

JAカードでのショッピングご利用と携帯電話利用料金のお支払いで
最大**4,800円**相当のポイントをプレゼント

=

合計最大**6,800円**相当のポイントに!

ポイントプレゼントの詳細は、裏面をご覧ください。▶

謹賀新年

広尾町農業協同組合

代表理事組合長

組合長代行理事

理事

代表監事
監事

農事組合長会

副会長

(会員)

新 本 中 農 共 香 広 中 紋 東	相	北 山 新 森 宝 中 朝 北 広 鯖
楽 野 野 榮 榮 福 富 似 別 豊 似	良	藤 川 海 泉 川 日 藤 瀬 江
生 古 塚 塚 栄 栄 福 富 似 別 豊 似	誠	敦 幸 敏 祐 精 利 孝 雅
		博 吉 春 司 新 一 亮 通 浩

農協女性部

部長

副部長

代表監事

監事

すみれ会

会長

副会長

幹事

農協酪農部会

部長

副部長

代表監事

監事

幹事

横 朝 重 鯖 目 山	川 崎 中 田 井 岡 藤 藤	山 野 齋 今 早 中
井 豪 美 日 泉 江 黒 川	い づ み 富 千 睦	香 代 子 由 美 子 悦 子 佐 登 子 文 子
太 里 生 也 裕 地 史	恵	

広尾町和牛改良組合

組合長

副組合長

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

広尾町農業担い手育成センター

理事長

副理事長

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

監事

理事

謹賀新年

JAひろお広報委員会

委員長

委員

編 集 局	神 芳 杉 谷 阿 山 外 松 村 森 宝
	代 賀 山 部 畑 崎 山 上 泉
	美 基 高 尚 昌 尚 孝 祐
	紀 浩 志 弘 幸 之 陽 三 司 新

道 村 宝 萬 井 平 鯖 萬 井 新 和 宮 萬 今 村
端 上 泉 亀 堀 江 雅 正 克 敏 維 正 弘 瀬
隆 克 正 克 浩 雅 正 克 敏 維 正 弘 瀬
三 司 新 信 彦 則 浩 信 彦 春 洋 子 信 美 優



豊栄会 広報



豊栄会による豊似小学校への出前授業は今年で3年目。まだ新しいにおいのするきれいな校舎にお邪魔してきました。

1年生から4年生までの19人の児童の皆さんの前で、牧場での仕事のお話、今回は搾乳風景や分娩の様子を映像をみてもらいながら説明しました。酪農家のお子さんでもなかなか立ち会うことも少ない分娩の様子をみて、興味津々。その後、人形劇をみてもらいました。2時間目はクイズ大会とらくのうかるた、前の時間にしっかりお話を聞いてくれたので、1人1問のクイズは全員正解!!らくのうかるたも大いに盛り上がり、最後にみんなで酪農音頭を踊りました。

この授業も3年目、毎年子供たちへ何を伝えようかと構想を練るのですが、イキイキと授業へ参加してくれる姿を見ると、本当に嬉しく、やりがいを感じています。今後も酪農の魅力を伝えられる活動を積極的にやっていきたいと思っています。



新規就農者紹介

左から 柏葉 真伸さん ※出身地：十勝芽室町
 柏葉 みさきさん ※農業を始めたきっかけ：自然と動物が好きだから
 謝 淑霜さん ※これからの夢や目標：豊かな牧場を仲良く作る
 柏葉 敏幸さん

1月

今月のあなたの運勢 モナ・カサンドラ

※占い師モナ・カサンドラさんのプロフィールはCD-ROMに収録しています。

牡羊座 3/21～4/19



全体運 思うようにならないことが増え、強引になりがち。謙虚さを大切に。陶芸や園芸など、土に触れると開運効果が
健康運 体を動かせば、体調も運も上向きそう
幸運の食べ物 クワイ

牡牛座 4/20～5/20



全体運 保留になっていたことが動き始める予感。直感がさえるので、ピンときたら、即やってみると好結果に
健康運 小まめに運動することで、運氣も活性化
幸運の食べ物 セリ

双子座 5/21～6/21



全体運 周りの意見に振り回されやすいとき。自分の経験値を信じて選択を。セールでは掘り出し物をゲット
健康運 疲労をため込む傾向が大。笑いで発散を
幸運の食べ物 ナガイモ

蟹座 6/22～7/22



全体運 対人関係に変化がありそう。今まで敵対視していた相手が味方になる可能性が高め。新作映画やドラマにツキ
健康運 生活のペースを落とし。ゆとりが大事
幸運の食べ物 プリ

獅子座 7/23～8/22



全体運 マイナス思考が現実化しやすい傾向あり。意識的に楽しいことを考えて。新しい習い事を始めると充実しそう
健康運 うまく自己管理できそう。マッサージ吉
幸運の食べ物 野菜菜

乙女座 8/23～9/22



全体運 人運が赤丸急上昇。自信を持ってリーダーシップを発揮して。また、長年の夢がかなう気配。新年会もラッキー
健康運 消化に良い食べ物を。栄養にも配慮して
幸運の食べ物 ゴボウ

天秤座 9/23～10/23



全体運 うっかり発言でトラブルを招く暗示。特にお酒の席ではご用心。丁寧に玄関の掃除をすると運氣好転の効果が
健康運 足腰を鍛える好機。短い時間でも歩いて
幸運の食べ物 ホタテ

蠍座 10/24～11/22



全体運 フットワークが軽くなる期間。興味を引かれるジャンルを見つけたら、早速試してみ。グループレジャー吉
健康運 お正月太りにご用心。カロリー計算を
幸運の食べ物 こんにやく

射手座 11/23～12/21



全体運 得意なことや好きなジャンルに情熱を注ぐと、それが活躍の場を引き寄せます。ずっと欲しかった物を買えそう
健康運 スポーツを楽しめば、ストレス解消に◎
幸運の食べ物 伊予カン

山羊座 12/22～1/19



全体運 強運期。やりたいことに果敢にトライを。面接や公募などの自己アピールも好結果に。くじや懸賞も当たりそう
健康運 良質な睡眠を目指せば、自然治癒力アップ
幸運の食べ物 豆腐

水瓶座 1/20～2/18



全体運 大仕事を成そうと気張るより、地道な積み重ねが福を呼びます。現代アートは感性に良い刺激を与えてくれそう
健康運 健康グッズに注目を。体質に合う良品が
幸運の食べ物 あんこ

魚座 2/19～3/20



全体運 尊敬する人の行動を参考に仕事のやり方を変えるなど、自己改革に取り組んで。同世代有名人の出演番組にツキ
健康運 暴飲暴食は厳禁。腹七分目くらいが正解
幸運の食べ物 芽キャベツ